

第2回FDフォーラムを終えて

大学教育研究センター・FD実施支援対策部会（小野博宣部会長）では、第1回FDフォーラム（3月21日開催）に引き続き「私の授業作り」をテーマに第2回FDフォーラムを5月30日（水）に開催しました。今回は、水谷秀行先生（機械工学科）、澁谷鎮明先生（国際文化学科）、三浦真琴先生（大学教育研究センター副センター長、人文・社会教室）の3先生を発表者に迎え、また飯吉学長をはじめ約90人の先生方の参加を得て、盛会のうちに終了できました。部会員を代表して、この場を借りてお礼申し上げます。



FD フォーラム会場風景

さて、FD（Faculty Development）とFD フォーラムの趣旨に関しては、『ANTENNA』No.45などの誌上で第1回FDフォーラムに寄せて三浦真琴先生が詳しく述べられているように、大学教員の授業作りに対する創意工夫を共通の財産とし授業作りのヒントが得られるように、また、問題点や悩みなどを教員全体で共有しようという発想でスタートしたものであります。

加えて、第2回FDフォーラムでは、前回、参加者から寄せられた要望に基づいて、発表内容に共通のテーマを設定、発表内容をビデオに収録することとしました。

共通テーマとして、私語対策、双方向コミュニケーション、初回講義の構築、学生の反応確認の4点を取り上げ、授業作りにおいてどのように対処しているかを発表者に述べていただきました。授業での緊張感を生み出す工夫や、中間テストでの高得点者表彰、OHPなどのプレゼンテーション機器の活用、レポートのフィードバックの方法と効果など具体的かつ興味ある報告がなされ、また授業作りにあたったの悩みについても触れられ、参加者からも共感的なコメントを頂いております。また今回も参加者から貴重なご意見が寄せられており、今後の取り組みに活かしたいと思います。

なお、次回は9月26日（水）に予定しております。

FD 実施支援対策部会員

経営情報学科・助教授 龍岡亮二

「授業作りに関するアンケート」 調査結果

ホームページでも公開

大学教育研究センターが本年3月に実施したアンケート調査の結果が、7月初旬にホームページで公開された。各教員には、大学教育研究センターから直接知らされることになっている。